



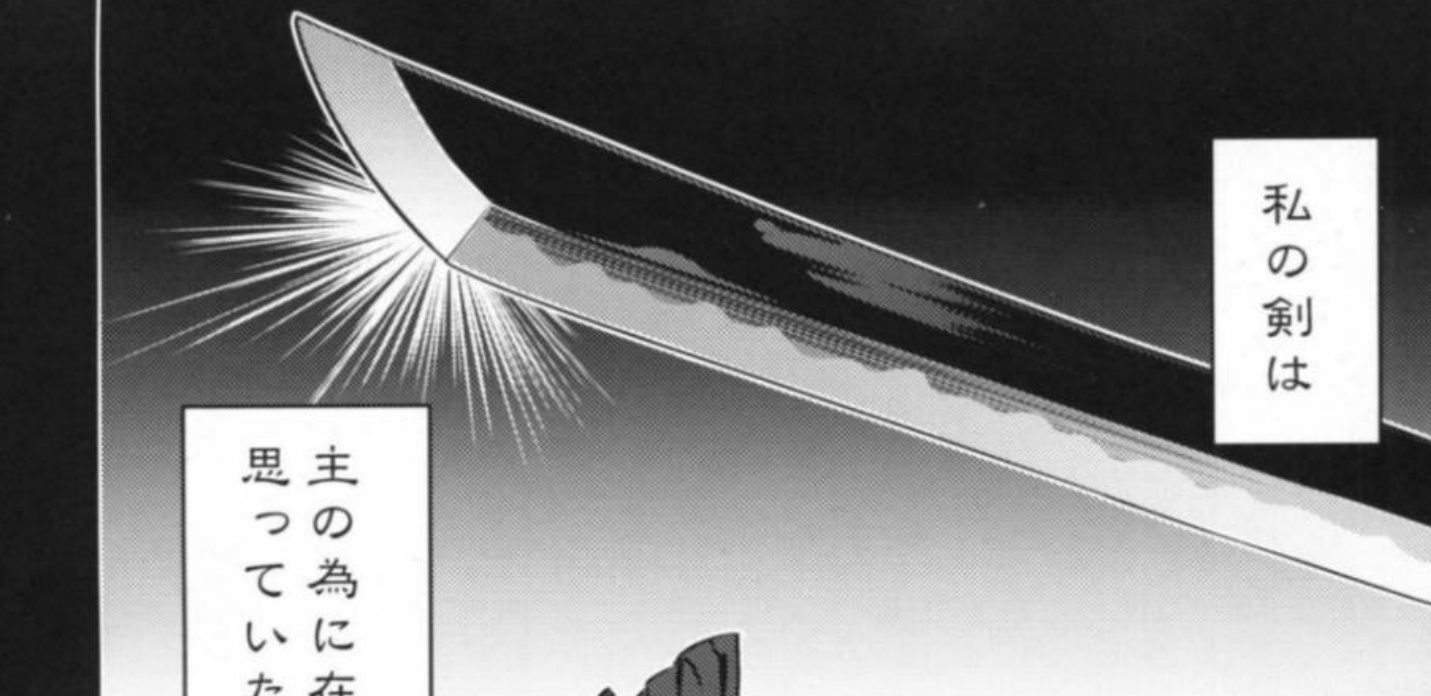
五子

シロガネ

TOUHO PROJECT
FAN BOOK
PRESENTED BY
Yakumi-Sarai
2015.12.30



この漫画は
東方Projectの
二次創作作品です



私の剣は

主の為に在ると
思っていた



主の敵を

切って

斬って

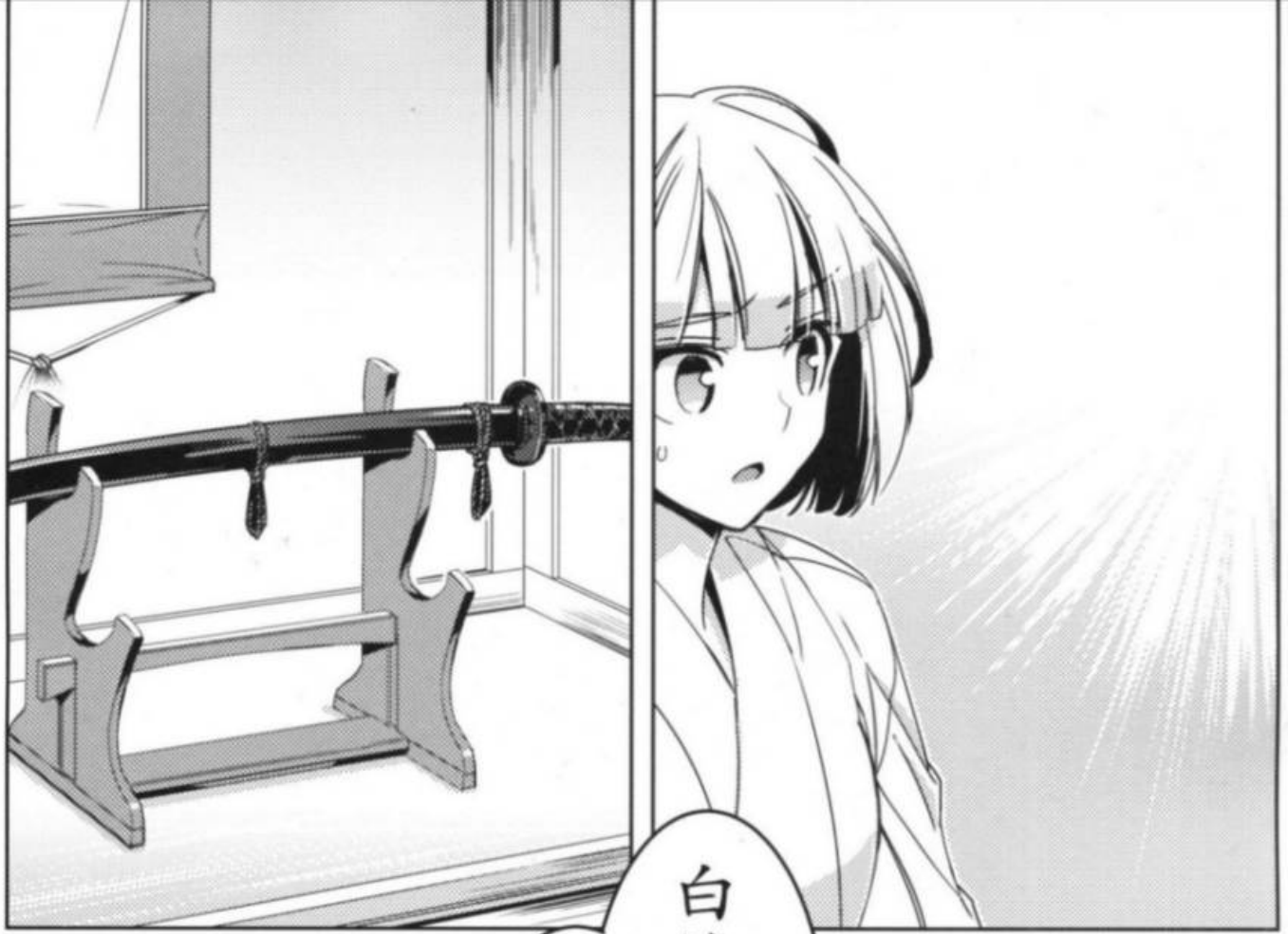
斬り伏せる為に



でも…







白楼剣と…
半霊は…？

TOUHOU PROJECT
FAN BOOK

シロガネエッチ

PRESENTED BY
Yakumi-Sarai





幽々子様!

ラッ



あら
どうしたの
妖夢?

朝餉にはまだ
早くないかしら



ええ
お邪魔して
いるわね



あ...
いえ...その...
ホッ
...紫様もいらして
いたのですか



それにしても
貴女：

なんだか今日は
寂しいわね……？



あら本当 半霊を
どこにやったのかしら？

これじゃあ
四分の一人前ね

幽々子様
あの……



久しぶりだわあ

あの子が自分から
休みをねだって
外出なんて



.....



それに半分は
無断欠勤に
なるのかしら



あなたも
少し休んだら
どうかしら？



...それよりも
幽々子
朝早くから
起こして
しまったし





闇雲に走り回ったって
半霊が見つかるわけ
ないじゃない!

ああ、
切羽詰まった時に
体を動かして誤魔化すのは
良くないって
わかっているのに、

半分お化けの
辻斬り娘だ



でも今は
足に頼るしか...!



ん

うおお!?

うわあああ!

カッ



すみません
ちよっと焦って...

イテテ...



すみません
すみません!
まさかこんな
重傷を負わせる
なんて...!

いや...
これは先程
寺で負った傷が
開いただけじゃ...

ガク



おお?

おぬしは
あの時の半々剣士...

もうヒゲは
やめたのか?

やめました...

そうだ...



私はあるモノを
知ったのだ



以前 この
仙人達との一件で



半

死欲



え………？

案外 何に悩んでいるか
見当がつくではないか…



生欲の欠けている
おぬしの事は
読みにくいと
太子様がおっしゃって
いたが…



と





警告します

即刻この山から
立ち去りなさい

そうすれば狼藉は
不問とします







ふーん
半霊がねえ：

とかアレって
貴女の一部だと
思っていたんだけど？

私もそう思って
いたのですが……
今朝気付いたら
もう居なくて……



おかしな話ねえ

なにか自分の中で
仲違いでもあったのかしら？

あったのね？

……！

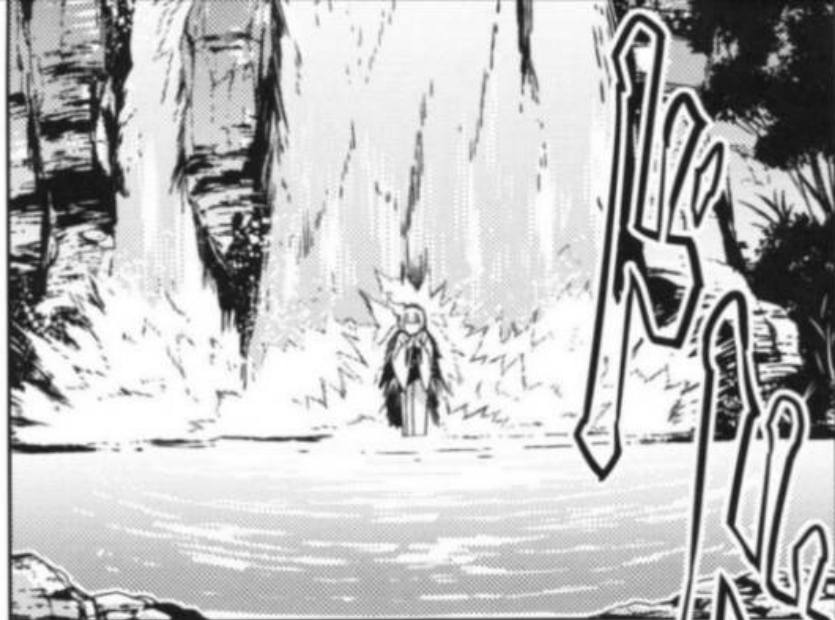


なるほど

そっちが
あの仙人が
察した本題か

食えないやつね







大丈夫
ですかー!?

プカ



少々無茶でしたね



はは...



しかし滝行一つとはいえ
ここまでするとは...



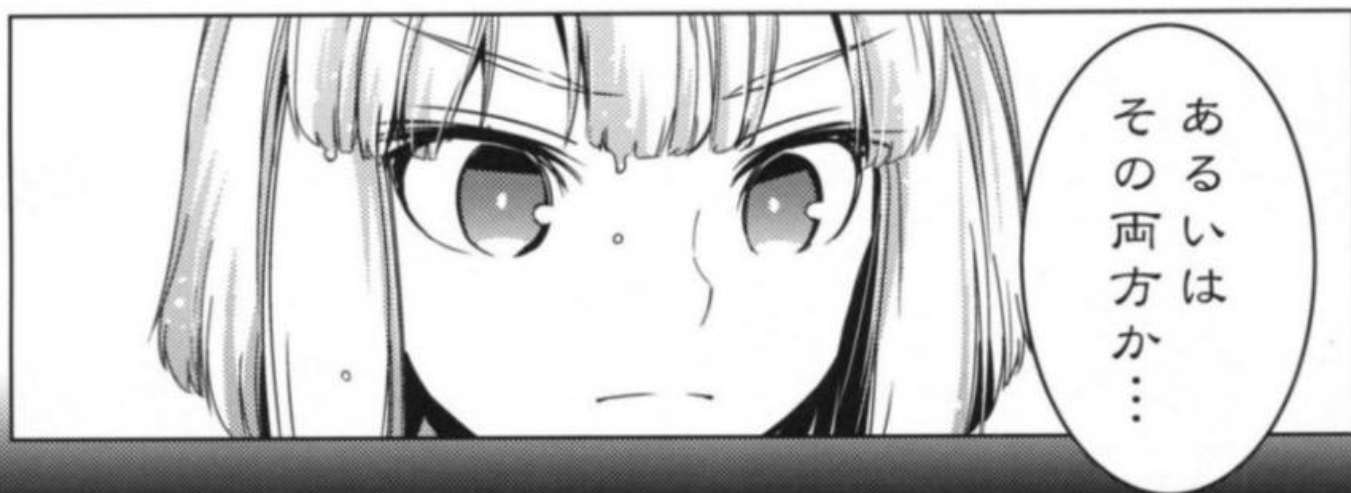
おやおや犬走さん？
滝行とはまた
前時代的な... あや？
むしろワシちゃんの
水浴びでしたか？
いやこれは失礼...

イラッ

近頃は我々の中でも
滝行を軽んじる者が
多くて辟易して
いたところでした！



いやでもその
精神は天晴れです！



死欲



だが 仙道に触れる事で
私は知ってしまったのだ

そして
亡霊たる
私の主も気付いて
いないのだろう

だから
それに
気付けなかった

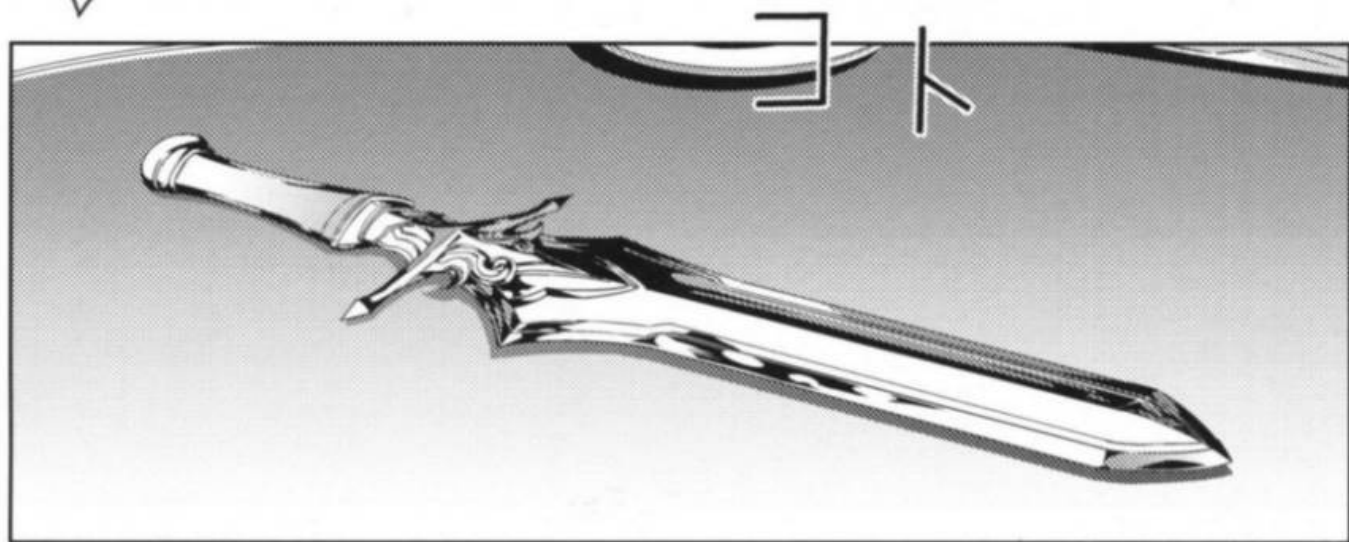
人に生来備わって
いるその欲は
半人半霊たる私には
存在しないらしい



濃密な死欲に

幽々子様自身
から沸き立つ







迷いは…

無いのですか？

無いわ

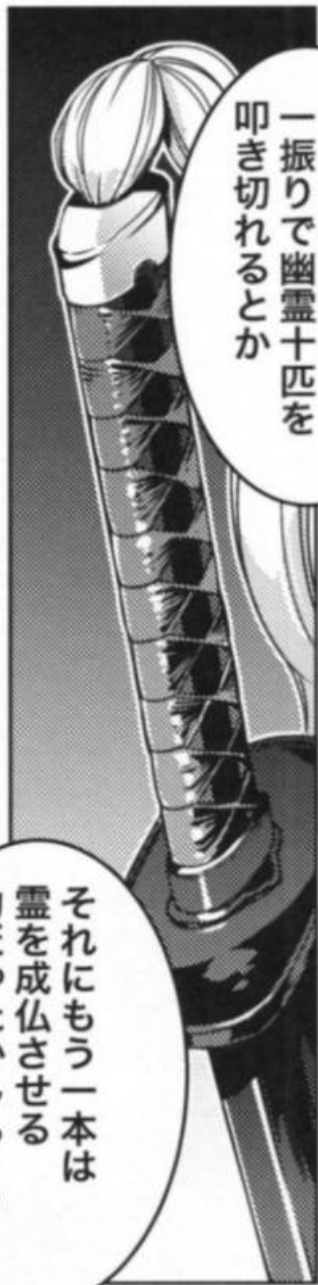
•••
全てのニーズに
お応えするのが
メイドの嗜みですわ

まあ あのお嬢様が
それを望むなんて
万に一つも
無いだろうけどね



正にお話し向き
じゃない…？

それにもう一本は
霊を成仏させる
力だったかしら…？



たしかその刀は
一振りで幽霊十匹を
叩き切れるとか

でも貴女だって
そうではなくて？





剣を振るう
理由…ですか




獣は生まれ持った
牙について
とやかく考える
ものではないでしょう



私は今 天狗の社会の
中で生きています






だけど貴女には
剣を振るうに足る
意味や意義が
あるのですね

私には今一
わかりませんが

それはとても
尊い事なので
ないでしょうか

ク..


生と死は 対となってこそ意味を成す



死を失った生者は
その存在をいびつに
歪ませていた

ならば

生前の記憶を...



生を失った
亡霊は...



不死者を
前にして漏らした

幽々子様の言葉



怖いわ 妖夢

死を欲する亡霊…

あれは ただ
不死者に対してだけの
言葉だったのだろうか

私の剣は 主のために



違う!!



私の剣は

私は!



そんな事の
為になど...!!





あとは 自分を
納得させるだけね







先ほどから
感じ始めた
この痛み…

ズ

キ

その痛みが
近づいて来る
のがわかる

この痛みは
おそろく…



ええ 間違いありません
冥界に入る前に
ここで待ち受けます。

本当に
ここを通るの？

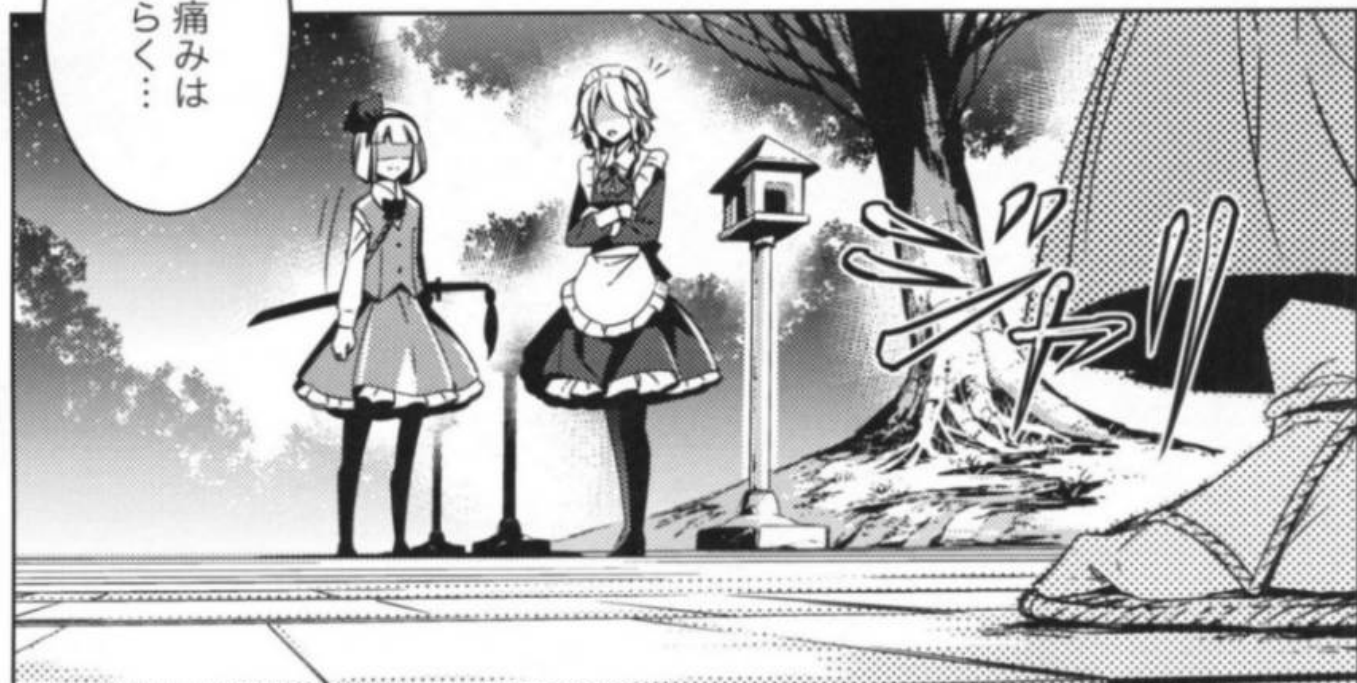


大丈夫
わかるんですよ…

…妖夢？



さっきまで必死に
探し回っていたのに
妙な自信ね…





あら…
あの白狼天狗…

咲夜さん

色々
ありがとうございます
ございました



あ・と・は・私・自・身・で
決着をつけます

手は出さないでくださいね





今ならわかる

半霊の行動は
私の葛藤の
一つの可能性だ

幽々子様の死欲を満たす為

主を苦しみから解放する為



だが そんなことは
赦さない

迷いも 苦しみも
断ち切ろうというのだ

白楼剣の
力をもって





主に仇なすものを
赦すわけにはいかない



それがたとえ私の
半身であろうとも



どうも…
おかしな所で
出会いますね

あっちは貴女が
面倒見ていたのね…

どうしたの
その血？



彼女の血です

これから主人に
刃を向けるからと

陰腹を…



やっぱり……!



ちよつと

なんで止め
なかつたのよ!

止められるなら
止めましたよ

じゃあどうして……



私にもそんなものは
理解できませんよ

彼女は武士では
ないでしょう?



フツドーってやつ??

よく知ら
ないけど

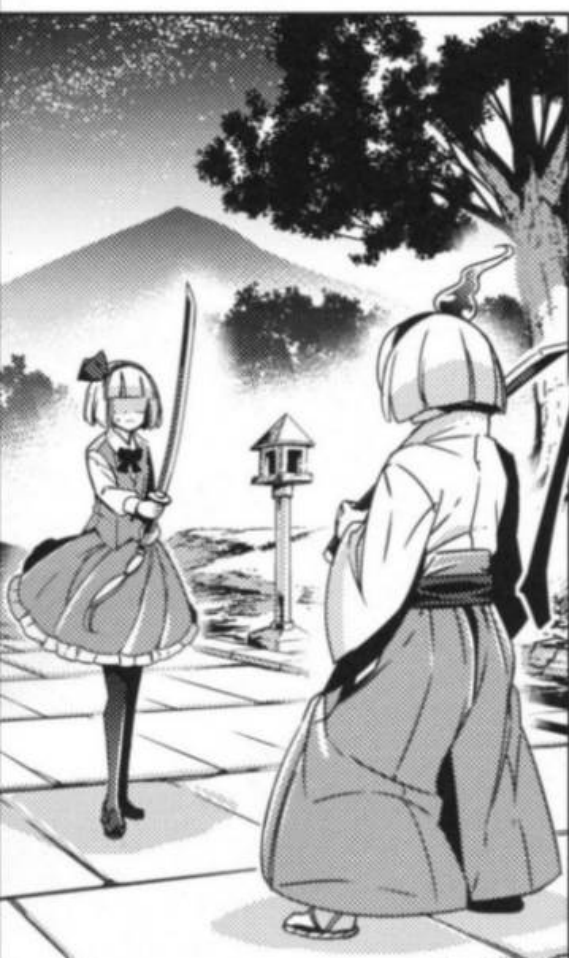


……何?



それでも

止められ
なかつたんですよ



剣の腕は同じ…

さらに向こうは
手負いの筈なのに

こうも圧倒
されてしまう…

そうか

腹とともに

自分の中の迷いも

断ち切ったのか…



速い……!



いや……私の
剣が遅いのか?

迷いとは

こうも切っ先を
鈍らせるのか……



迷って当然
じゃないか

私はまだ半人前
今は更にその半分だ

幽々子様の為に
何ができるのか

幽々子様が何を
望んでいるのか

自分の事も
主の事も

何もわかつちやいない





カッ

でも

ゴッ

クッ

幽々子様
に
刃を向ける者を

見過ごす事だけは

断じて……!







妖夢!!









そうですか…

それより…

メイドと天狗があなた達を
運んでくれたのよ

酷い傷で 半人半霊
じゃないかったら
危なかったって…

目が覚めた？



聞いたわよ妖夢

自分で自分の事を
刺したんですって？






嫌よ妖夢

そういうのは

とても嫌よ…



すみません
幽々子様

こんな事は

もう二度と
しませんから





でもあの子は
ちゃんと自分自身で
乗り越えられた…



ええ
死欲の欠落を自覚した
妖夢の心のスキマに
滲み込んだのでしょ

紫様
やはり今回の件は
この妖樹が…



幽々子も
あの様を見れば

死への欲求を抑えて
くれると思いたいけど…



しかし


なんとか妖夢自身が
決着をつけましたが

もし彼女の片割れが
幽々子様の前に
現れていたら…

クス…



その時は



私が消していたわ

ズ



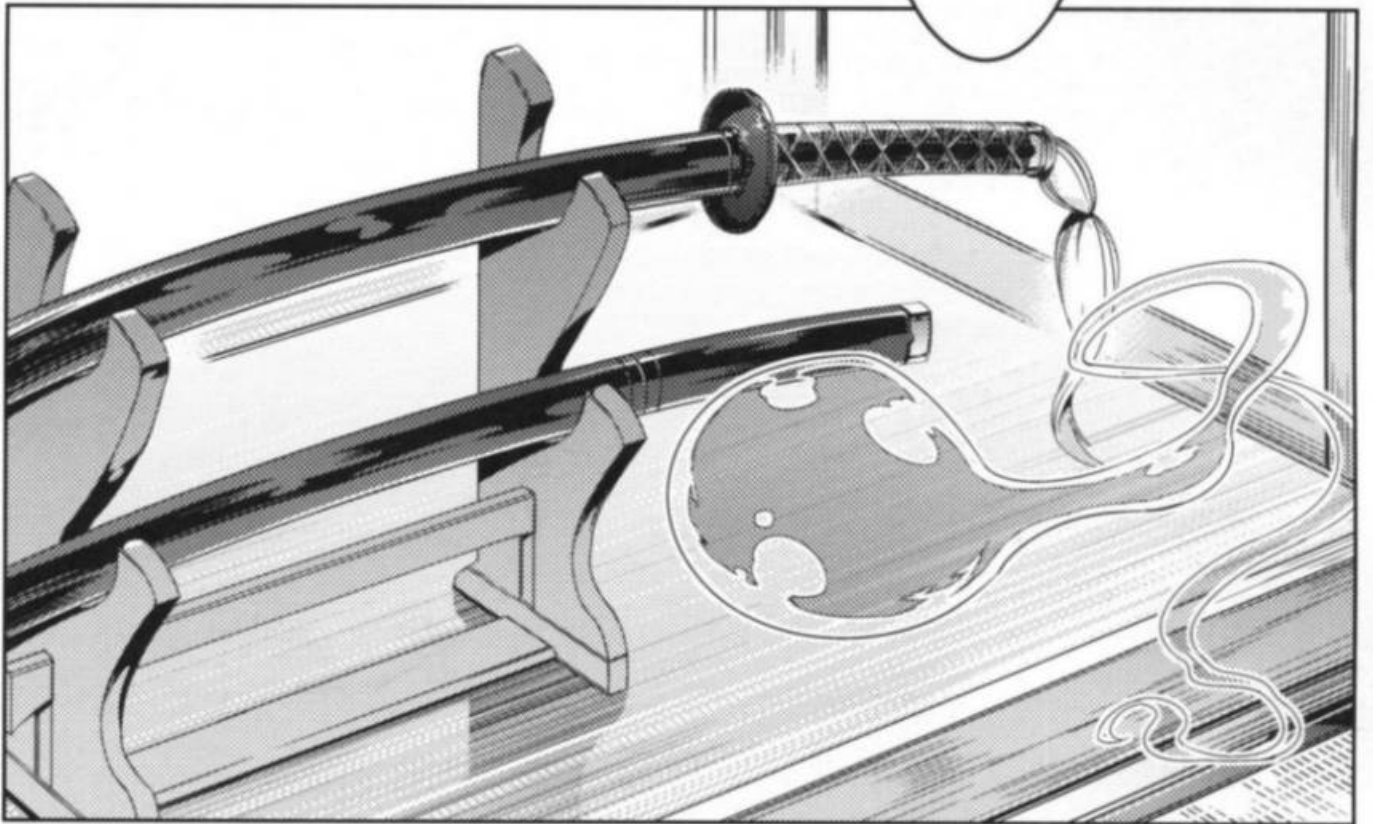
ズ

ズ



迷いが無い
というのも

考えものだな…



あとがき

19冊目になります。ゾウノセです。

妖夢は原作でも割と性格に変遷があり、二次創作でも描く人によって差異が出るキャラだと思います。自分の中では初期のとりあえず斬ってどうにかしようとする部分と永夜抄後半でのなんだかんだで幽々子に忠義を尽くすあたりが印象的です。

妖夢はよく半人前扱いされますが、それは未熟で何もできないというより未熟故に間違った方向でも突っ走ってしまう危うさなのではと思います。

(神霊廟のヒゲの件といい)

この本でも借り物っぽい忠義の思想(葉隠的な)が暴走した感じに描いてみました。

幽々子に関してはテーマの一部にもかかわらず

ほとんど触れずに終わってしまいました。

というか触れられないので不調のまま寝てもらいました。

東方キャラの中でも群を抜いて描くのが難しいんですよね。

底が見えないというか…。自分の手には負えないというか…。

でもいつかはちゃんと描いてみたいとは思っています。

しかし夏の総集編の書き下ろしから前作の竜殺、今作と

立て続けに紫が裏で何かやっている話になっていますね。

夏のはたまたまですが、それ以降は紺珠伝の魔理沙EDの影響な気がします。

しばらく出番がないから寝てたと思ってたら実は色々暗躍してたっぽいのは結構テンション上がりました。

ぶっちゃけ例大祭で描こうかと考えてる話でも同じポジションで出てきそうでちょっと頭を悩ませています。流石にここまで連続してしまうのは…。

ではでは、次は例大祭か…

もしくは3月の合同祭事で短い話を描こうかと思っています。

ともかくまたお会いできれば幸いです。



東方Project Fanbook

奥付 シロガネエツヂ

2015年12月30日 コミックマーケット 89 発行

原作 上海アリス幻楽団 様

印刷 栄光印刷 様

サークル 葉味さらい
著者 ソウノセ

<http://zounose.jugem.jp/>

pixivID 2622803
mail zounose@gmail.com
twitter @zounose



TOUHOU PROJECT
FAN BOOK

シロガネ
エツヂ



PRESENTED BY
Yakumi-Sarai

2015.12.30